



令和7年度高山市立山王小学校 学校経営全体構想

◇学校の教育課題

- ・多様な他者理解と協働
- ・自己表出する意欲と技能
- ・食事（給食残量）、運動、睡眠

◇児童のよさ

- ・子どもらしい明るさを持っている
- ・素直で協調性を大切にしている

◇学校の教育目標

ひとり歩きができる子
考える子 やさしい子 元気な子

◇育てたい資質・能力

多様性を尊重し、
願いをもって動く

◇高山市 教育の方針と重点

【願い】郷土高山に根ざした心に残る教育を創造する

【方針】未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

【重点】主体的・対話的で深い学び
～対話から議論へ～

◇合言葉

みつめよう やってみよう

<多様性> みんなちがってみんないい

（凸凹、ぐちゃぐちゃでも、学校に居場所がある）

<方向性> みんな同じでみんないい

（失敗してもいい、楽しくて元気の出る学校生活にしよう）

◇特別支援部の重点

- ・児童理解に徹する → 困り感をもつ児童の理解・支援方法 共通理解・共通行動（学校・家庭）
- ・「よさ」や「できる」を生かす → 自己肯定感 UP トラブル、困り感の解消 → 不登校・いじめ防止

<具体的取組>

特支学級・通級・どんぐりっこルームの一体的支援

考える子

◇学習指導の重点

- 問いを自ら見出す
- 対話による多様な見方・考え方

学習指導部・研究推進委 <具体的取組>

- ・個別最適化（教育 DX 活用）
- ・目的、相手意識のある対話の充実（プレゼン教育）

やさしい子

◇生活指導の重点

- なりたい自分 → 新しい挑戦
- 自分も仲間も大切にする（他者理解）

生活指導部・特活推進委 <具体的取組>

- ・行事、学級、期ごとの PDCA の位置付け（点ではなく線で）
- ・いじめ未然防止授業・対話確保

元気な子

◇健康安全指導の重点

- 自他の心と体を大切にする
- 安全について多様な知識・経験

保健安全指導部 <具体的取組>

- ・児童の実態把握と児童主体の活動
給食、休み時間の運動遊び、睡眠
- ・危険予知力を身に付ける活動

心が通う職員集団

- ・コミュニケーション（対話）第1主義。職員の相互理解（分かり合い分かち合う）。

働き方改革の推進

- ・ライフワークバランス → 元気な姿で子どもの前に立つ。豊かな経験を語る。

授業力を高める教員

- ・授業について語り合える職員
- ・日常的に授業を見合う、見せ合う職員集団
- ・個別最適化/教育 DX の試み
- ・相手意識のある授業/対話/議論

生徒指導ができる教員

- ・率先垂範（やってみせる教師）
挨拶、時間、思いやり行動
明るく大きな声、言葉遣い
- ・個と向き合う時間の確保
- ・将来を見通す（キャリア指導）

いじめから絶対に守る教員

- ・アンテナ高く偏見、差別を見逃さない教師
- ・相手意識（ひと手間かけた配慮）
メンタルケア指導
- ・組織対応で、早期解決

地域と共にある学校

- ・学校運営協議会の効果的な運用（情報共有→意見交換→協力体制の構築）
- ・地域を最大限に活かすカリキュラムマネジメント（郷土教育・総合的な学習カリキュラムの充実）
- ・子供の成長と家庭の教育力を高めるPTA活動